



ふく た けい いち
福田 慶一

しみんくらぶ
市民クラブ

**河川しゅんせつによる
浸水災害の未然防止を**

問 先の台風17号は市内に大きな被害を残した。その一因に河川の堆積土砂による流路面積の狭小化がある。主要河川のしゅんせつ状況は。また、河川管理者への要望状況は。聞くところによると、発生土砂の処理が困難なため、しゅんせつ事業が進まないらしいが、市内の未利用地等を有効活用し、ストックヤードを設置、仮置している自治体もある。市としての考えは。

答 平成24年度は、雲出川では久居元町地区で河道掘削を、波瀬川では立木等の伐採予定であり、土砂撤去は、安濃川の納所橋上流部で、三ヶ野川の白山町三ヶ野地区で、弁天川の白山町川口地区で、穴倉川の安濃町妙法寺地区で、田中川の河芸町上野地区で実施する予定である。河川管理者である国県に対して、あらゆる機会をとらえ堆積物の撤去などを要望しているが、処分先確保の問題で土砂撤去が進まない状況である。市の未利用地を発生土砂のストックヤードとして確保することで、発生土を他の公共事業等へ流用しやすくなり有意義な施設と認識しているが、土地の規模や運搬車両に伴う騒音や粉塵等の問題、法的な制約等もあることから、関係部局と十分に協議していく。

●その他の質疑・質問●

- 道徳教育について
- 文化財の保護について
- 企業誘致と産業振興について
 - ・これからの企業誘致の考えは
 - ・市内企業の全般的な課題は
- 津市総合計画後期基本計画（案）について
 - ・市民からの意見聴取について
 - ・全庁的な取り組みの考えは
 - ・より深い財政収支計画を示すべきだが考えは など



▲浸水被害を未然に防ぐ、河川しゅんせつ事業の様子



すぎ たに いく お
杉谷 育生

しん わ かい
津和会

消防団担当事務組織運営の見直しについて

問 総合支所の地域振興課が分掌していた消防団に関する事務については、消防署で分掌することとし、分署・分遣所では増員もなく、兼務者を配置すると聞く。

このような見直しで、地域での消火活動や地域防災力に係る重要な役割を担う消防団の充実、強化の推進は図られるのか。

答 今回の総合支所地域振興課消防団担当の分掌事務・組織運営の見直しにより、現在各総合支所で行っている分掌事務のうち、団員の身分、報酬等の事務、被服等の貸与及び教育訓練などの事務処理を各方面団を管轄する4消防署に専任の担当者を配置し、分署・分遣所には兼任者を配置して対応する。また、消防総務課に消防団総括室を設置し、これらを総括していく。今回の見直しは、消防定数345人の中で、創意工夫し、いかにして地域の消防力を向上していくかとの観点から行うものである。

また、消防職の再任用職員など、専門職としてのマンパワーを生かしていくことも大変重要と考えており、そうした点も考慮した人事配置を検討し消防組織力の向上に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 生活道路の整備について
 - ・土地の提供（寄付採納）でなくせめて固定資産評価額で買収を
- 臨時職員の通勤手当等の見直しをせよ
- 河川災害対策として水田の多面的機能を活用せよ
- 消防団条例の改正で任命に係る年齢を18歳以上65歳以下としたが、なぜ上限を定めるのか



▲救急業務の増大で忙しい消防分署 いざ出動